

小山市事務事業評価シート

平成30年度版

No. 16

1. 基本情報							
<1> 事業・業務名		男女共同参画フェア事業			<2> 事業・業務の別		事業
<3> 選定基準		⑤ その他			<4> 継続評価・新規評価の別		継続評価
<5> 総合計画 基本計画 での体系	大項目	3 明日に生きる 男女が協力・子育て支援・ひとづくり			<6> 担当部(局)		総務部
	中項目	3-3 とともに輝き明日を創る男女共同参画			<7> 担当所属		男女共同参画課
	小項目	3-3-1 男女共同参画社会			<8> 担当係等		男女共同参画係
	施策	男女共同参画意識の醸成					
<9> 根拠法令・計画等		男女共同参画社会基本法		<10> 関連・類似事業			
<11> 会計		一般	会計	<12> 予算科目		2 款 1 項 1 目	
<13> 実施期間		年度	～	年度	<14> 全体事業費		千円
<15> 実施手法		補助金・負担金・貸付金等		「その他」の場合 ()			

2. Do - 実施 -								
<16> 事業・業務の概要		市、実行委員会主催による男女共同参画フェアの実施						
目的	<17> 事業・業務の目的	男女共同参画の正しい理解の普及と意識の醸成を図る						
	<18> 事業・業務の対象	小山市民、小山市内事業者、定住自立圏連携市町関係者						
手段	<19> 平成29年度の活動内容	・外部講師による基調講演の実施 ・小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者認定証交付式及び取組発表 ・ジェンダーチェックシートによる意識改善啓発 ・各種啓発資料配布 ・啓発パネルの掲示						
	<20> 活動指標 (アウトプット)	指標名	単位	平成28年度		平成29年度		
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)
		リーフレット配布枚数	枚	2,800	2,250	2,800	2,287	81.7%
	参加者人数	人	200	300	200	350	175.0%	
成果	<21> 事業・業務の成果	・男女共同参画について正しく理解してもらう ・男女共同参画を身近なこと、必要なこととして捉え、日常生活の中で実践してもらう						
	<22> 成果指標 (アウトカム)	指標名	単位	平成28年度		平成29年度		
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)
		講演の理解度	%	90	87	90	93	103.3%
	家庭での男女共同参画実践率	%	70	46	70	57	81.4%	
コスト ～資源の投入量	<23> 投入指標 (インプット)	区分	単位	平成28年度		平成29年度		
				計画	実績	計画	実績	投入率(%)
	コスト	千円	3,045	3,045	3,006	2,972	98.9%	
	事業費等	千円	400	400	367	333	90.7%	
	財源内訳	国・県補助金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
	一般財源	千円	400	400	367	333	90.7%	
人件費	千円	2,645	2,645	2,639	2,639	100.0%		
	正職員	千円 × 人役	7,214 × 0.3	7,214 × 0.3	7,195 × 0.3	7,195 × 0.3		
	他の職員	千円 × 人役	2,400 × 0.2	2,400 × 0.2	2,400 × 0.2	2,400 × 0.2		

3. Check - 評価 -									
実績評価	妥当性	<24> 目的・対象の妥当性	1.妥当である	理由	市民一人ひとりの男女共同参画に関する理解を深め、その意識の向上を目指すことが必要であるため				
		<25> 手段や実施手法の妥当性	4.手段・実施手法を見直す必要がある		講演以外により効果的に理解や意識を持たせる方法があるか考える必要があるため				
	有効性	<26> 成果の向上余地	2.向上の余地がある	理由	理解が100%ではないため向上の余地が考えられるため。				
	効率性	<27> 事業費や人件費の削減余地	2.事業費の削減余地がある	理由	より効果的に意識の醸成を図る他の手法があれば、事業費を見直す可能性があると思われるため。				
	公平性	<28> 受益者負担の適正化余地	1.適正	理由	広く意識の啓発を目的とした事業であるため。				
	<29>総合評価	2.改善の余地がある	理由	市民や事業者の意識や理解を効果的に深める事業を実施できるよう手段や内容等を毎年検討する必要があるため。					
4. Action - 改善 -									
事業の改善	<30> 事業の課題 事業の改善点 今後の進め方等		外部講師による講演は大勢の参加者に対して一度に意識の醸成を効果的に図ることが出来ると考えられるので、より多くの市民や事業者に参加してもらえる内容を検討する。特に「女性活躍」や「ワーク・ライフ・バランス」など、その時節にあったテーマを捉え啓発を継続していく。						
事業の方向性	<31> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由	働き方や個人の生き方などが多様化しているため、「女性活躍」や「ワークライフバランス」、「男性の家事育児参画」など社会情勢に即した内容で事業を展開していく必要がある。多くの参加者を呼び込むため、周知方法を実行委員と検討しながらよりよい事業を展開していきたい。				
	<32> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由	男女共同参画を正しく理解し、実践する人を増やすことが男女共同参画の実現につながることから、市民・事業者・定住自立圏協定市町・市職員と連携し、時代に即した内容で事業を実施し、広く意識の醸成を図ることが必要である。				
5 Plan - 計画 -									
事業の計画	<33>実施計画		・講演会の実施 ・啓発紙による各種相談機関の紹介 ・活動団体の周知 他		区分	単位	平成30年度	平成31年度	
	<34>活動・成果目標		男女共同参画社会の実現 →正しい知識を得る、男女共同参画を実践する人を増やす				コスト	千円	2,973
						事業費等	千円	334	334
				人件費	千円	2,639	2,639		